

PSIM Ver11

インストールマニュアル

HASPキースタンドアロン版／HASPキーネットワーク版
／ソフトキースタンドアロン版

PSIM に関するご質問につきましては、下記をご参照ください。

PSIM 用 FAQ サイト

<https://mywayplus.zendesk.com/hc/ja/categories/115000270434-PSIM>

PSIM サポート契約者専用ページ(ページ下部中央よりログイン)

<https://www.myway.co.jp/products/psim/index.html>

本書の最後には 8. お問合せの前に という項目で、PSIM をご使用中にトラブルやエラーが発生した場合の基本的な確認方法について記載していますので、そちらもご確認ください。

前書き

本書は回路シミュレータPSIM(ピーシム)の初期設定方法を説明しています。

・インストール、アップデート方法について、HASPキースタンドアロン版、HASPキーネットワーク版、ソフトキースタンドアロン版のライセンス形態別に説明しています。ご使用のライセンス形態に応じた箇所から読み進めてください。

・SmartCtrlのインストールを行う場合は、**5. SmartCtrlのインストール** も続けてお読みください。

・HASPキーネットワーク版でクライアントPCからネットワークライセンスの確認を行う場合は、**6. HASPネットワークライセンスの確認方法**をご確認ください。

・連成シミュレーションを行うMagCoupler、MagCoupler-RT、SimCoupler、ModCoupler-VHDL、ModCoupler-Verilogモジュールを購入された場合は **7. アドオンオプションの設定方法** についてもご確認ください。

また、PSIMの使用方法については次表を参考に他のマニュアルを参照してください。

それぞれのマニュアルの最新版はMywayプラスのホームページ上からご覧いただけます (<https://www.myway.co.jp/products/psim/download/manual.html>)。

タイトル	概要
PSIM ユーザーズガイド	<p>下記に含まれる素子やPSIMの基本的な使用方法を説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PSIM Professional ・ Thermal Module ・ Motor Drive Module ・ MagCoupler Module ・ MagCoupler-RT Module ・ Renewable Energy Module ・ Digital Control Module ・ SimCoupler Module ・ HEV Design Suite ・ Motor Control Design Suite

SimCoder ユーザーズガイド	SimCoder Moduleに含まれる素子や各ターゲット専用の素子、その使用方法を説明しています。
SmartCtrl ユーザーズガイド	SmartCtrl の画面構成や基本操作、サンプルを用いた使用方法を説明しています。
ModCoupler-VHDL ユーザーズガイド	ModCoupler-VHDL Moduleのブロック構成やコンパイル、シミュレーションの方法について説明しています。
ModCoupler-Verilog ユーザーズガイド	ModCoupler-Verilog Moduleのブロック構成やコンパイル、シミュレーションの方法について説明しています。

前書き	2
1. HASP キースタンドアロン版	5
1.1 事前準備	6
1.2 HASP キーのアップデート.....	7
1.3 ソフトウェアのインストール	10
2. ネットワーク版	13
2.1 事前準備	14
2.2 HASP キーのアップデート.....	15
2.3 サーバーのセットアップ	19
2.4 ソフトウェアのインストール	21
3. ソフトキースタンドアロン版	24
3.1 事前準備	24
3.2 ソフトウェアのインストール	25
4. 最新版ソフトウェアの入手	29
4.1 最新版ソフトウェアの入手方法	29
5. SmartCtrl のインストール	31
6. HASP ネットワークライセンスの確認方法	35
7. アドオンオプションの設定方法	36
7.1 MagCoupler および MagCoupler-RT の設定方法.....	37
7.2 SimCoupler の設定方法.....	38
7.3 ModCoupler-VHDL および ModCoupler-Verilog の設定方法.....	39
8. お問い合わせの前に	41
8.1 PSIM のバージョン情報を確認する.....	41
8.2 Windows のシステム情報を確認する.....	42

1. HASP キースタンドアロン版

本章ではHASPキースタンドアロン版のインストール方法について説明します。

※旧タイプのHASPキー（HASP4）では、PSIM Ver10.0以降をお使いいただくことができません。HASP4をお持ちの方は新しいキーを発行いたしますので弊社までご連絡ください。

HASPキー			Ver.9.X	Ver.10.0~
旧タイプ	HASP4		○	×
現行タイプ	HASP HL		○	○
	Sentinel HL		○	○

（色は異なる場合があります。）

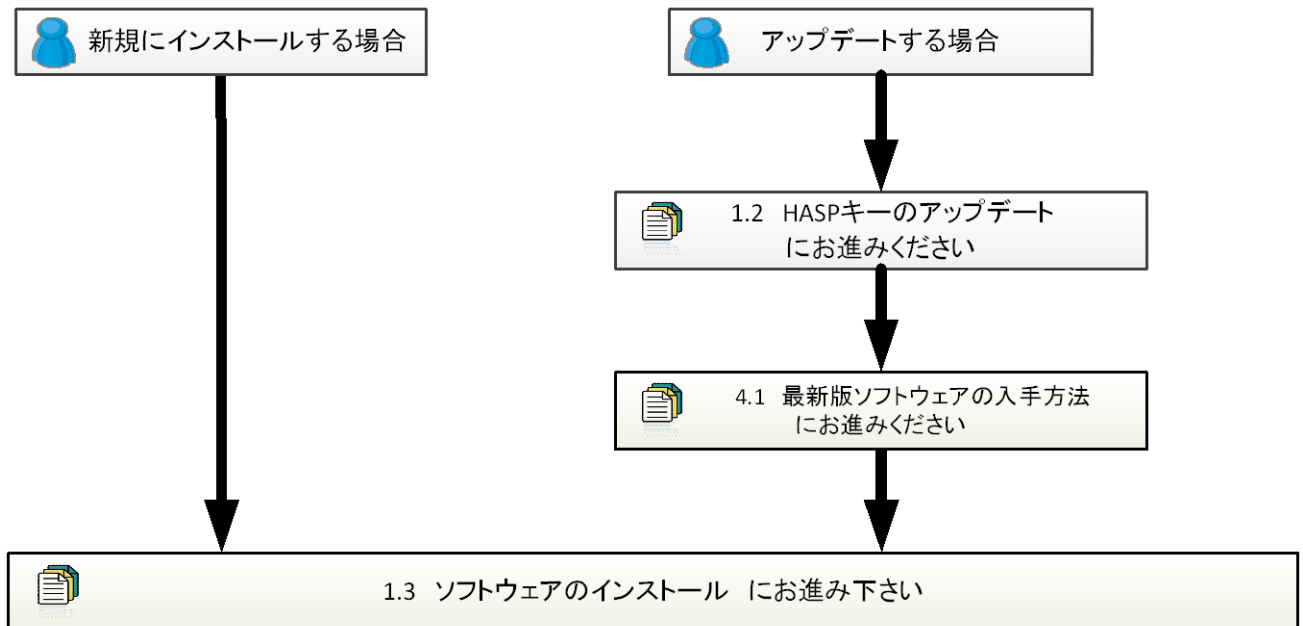
1.1 事前準備

まずは<注意事項>をお読みいただき、インストール前の準備をして下さい。
その後、<フローチャート>から状況に合わせて読み進めてください。

<注意事項>

- ・ Admin権限をもったユーザーに切り替えてください
- ・ HASPキーをPCIに挿してください
- ・ ライセンス確認書をお手元にご用意ください

<フローチャート>



1.2 HASP キーのアップデート

①ライセンスキー書き換えツール (KeyProgram. exe) をダウンロードする

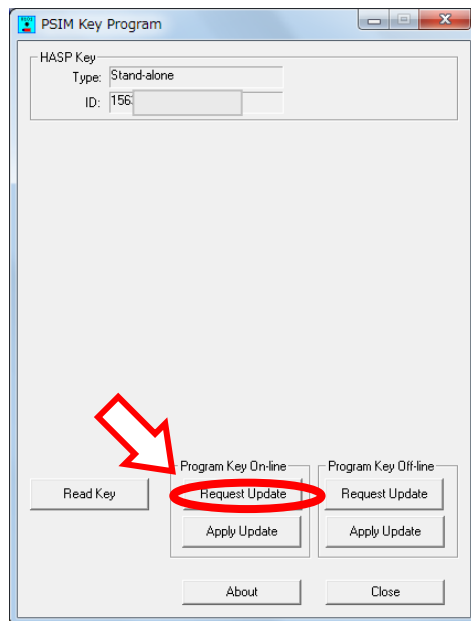


※ホームページはデザイン変更されている場合があります。

はじめに、HASPキーのアップデートに必要なライセンスキー書き換えツール (KeyProgram. zip) を弊社ホームページ (<https://www.myway.co.jp/products/p-sim/download/lisence-key.html>) からダウンロードし、解凍してください。

※PSIM Ver9. XのKeyPrgram. exeとは自身が異なりますのでご注意ください。

②KeyProgram. exeを実行する



HASP キーを PC に挿入します

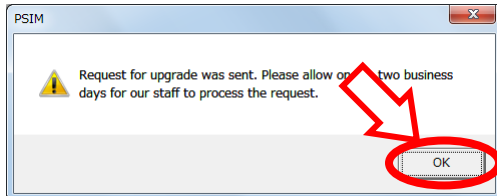
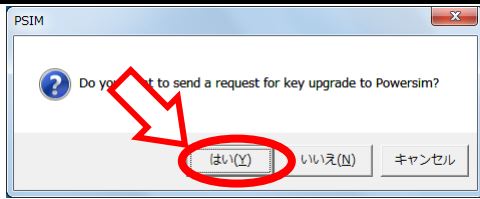
(HASP キーのドライバは自動的にインストールされますが、キーが認識されない場合は PSIM CD 中の "HaspUserSetup. exe" を実行してください。 <http://www.powersimtech.com/download/HaspUserSetup.zip>からもダウンロード可能です。)

-V10にアップデート済みのキーの場合 アップデートリクエストは不要です。スキップし④の手順から行ってください。

-V10以前のキーの場合

HASPキーを認識したら" KeyProgram. exe" を実行し「Program Key On-line」の中の「Request Update」を実行します。

③アップデートリクエストを送信する

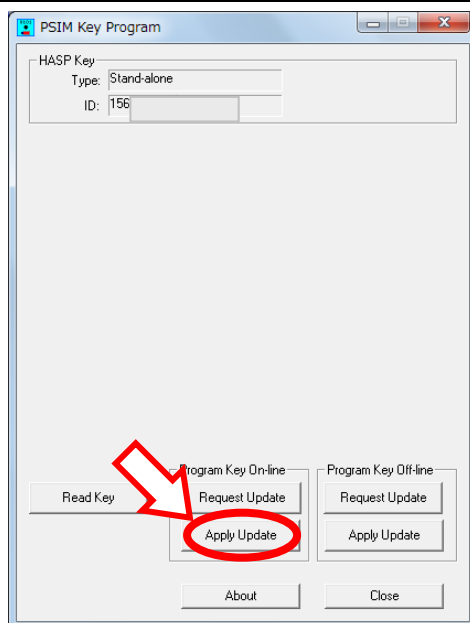


リクエスト送信の確認が表示されるので「はい」を選択します。

リクエストが送信され、リクエストの処理に1~2営業日が必要とのメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

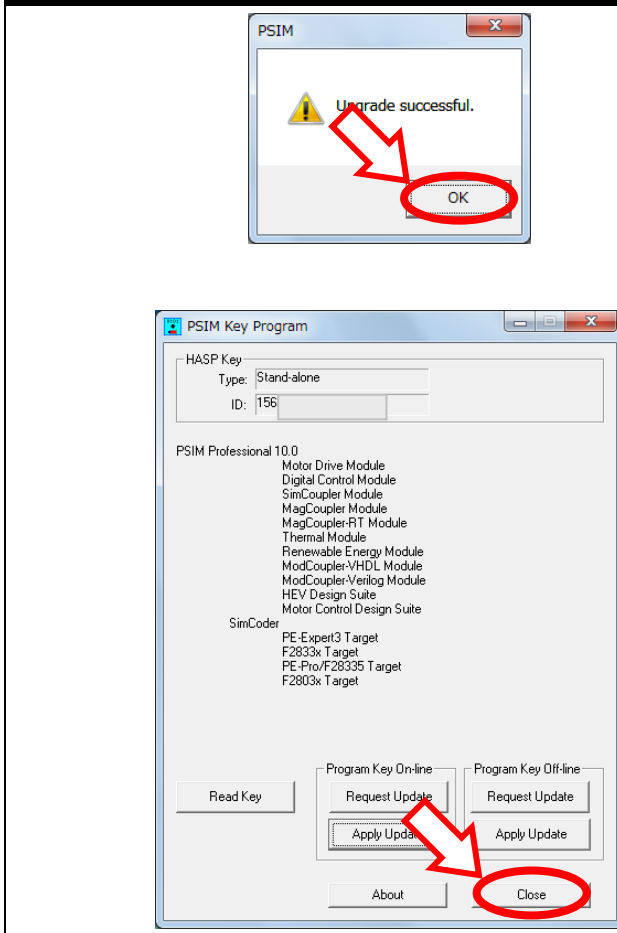
※リクエスト処理に1~2営業日かかりますのでお待ちください。

④アップデートを適用する



1~2営業日後に、HASPキーをPCに挿した状態でもう一度KeyProgram.exeを実行します。HASPキーを認識したら「Program Key On-line」の中の「Apply Update」を実行します。

⑤アップデート内容を確認する



アップデート成功のメッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

(3営業日以上経過しても正しくアップデートされない場合は弊社までご連絡ください。)

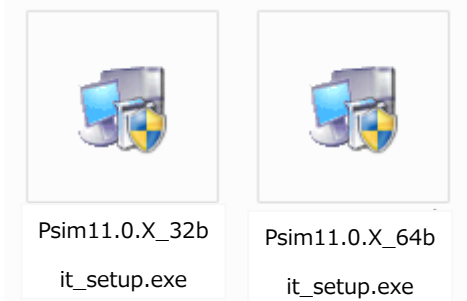
KeyProgramの中でアップデート内容が表示されるので確認した後「Close」をクリックします。

アップデートが完了しましたら、

4.1 最新版ソフトウェアの入手方法
にお進みください。

1.3 ソフトウェアのインストール

① セットアップファイルを実行する



HASPキーをPCに挿し、セットアップファイルを実行します。

CD-ROMからインストールする場合、実行するセットアップファイルは Psim11.0.X_32bit_setup.exe もしくは Psim11.0.X_64bit_setup.exe です。お使いPCに応じて選択してください。

② インストールウィザードを開始する

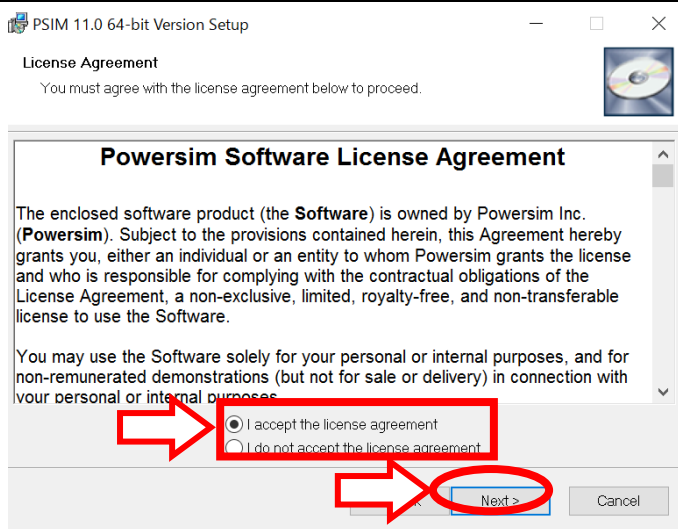


インストールウィザードが立ち上がります。

内容を確認後、「Next」をクリックします。

※この先の説明は64bit版のインストール画面を使用しています。

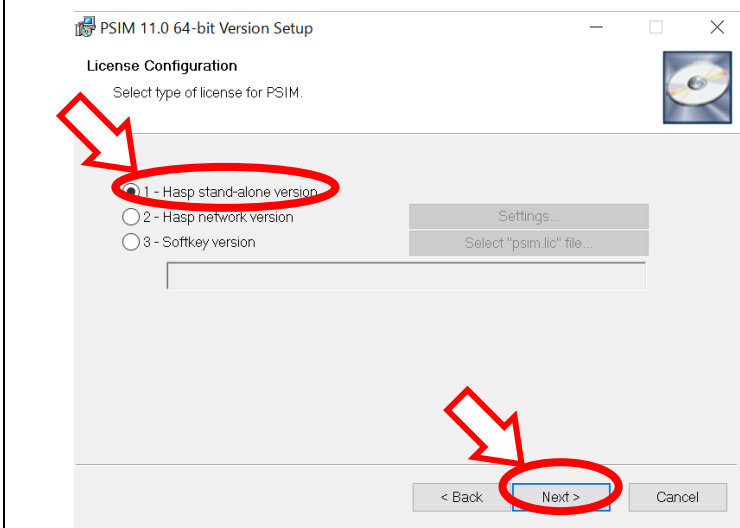
③ ライセンス契約に同意する



ライセンス契約の確認画面が表示されます。

内容を確認後、「I accept the license agreement」を選択し、「Next」をクリックします。

④ライセンス形態を選択する

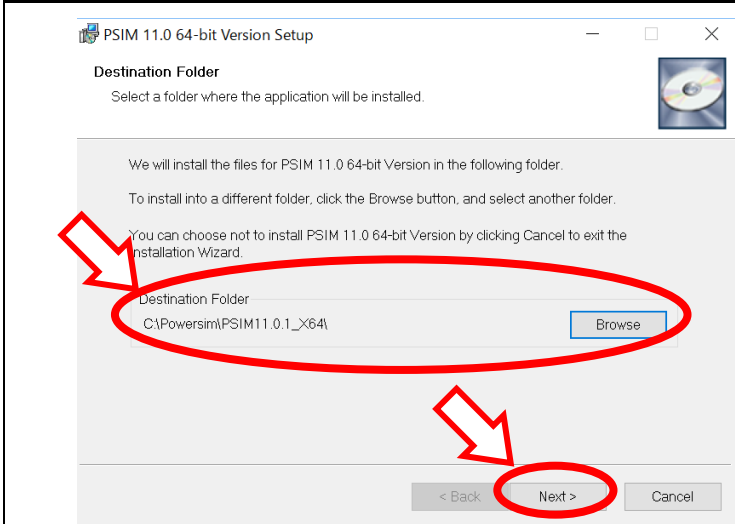


ライセンス形態の選択画面が表示されます。

「1-Hasp stand-alone version」を選択し、「Next」をクリックします。

Sentinel Runtimeがインストールされていない、若しくはバージョンが古い場合は先ずSentinel Runtimeのインストーラーが起動します。画面に従いインストール終了後⑤の手順を行ってください。

⑤インストール先を指定する



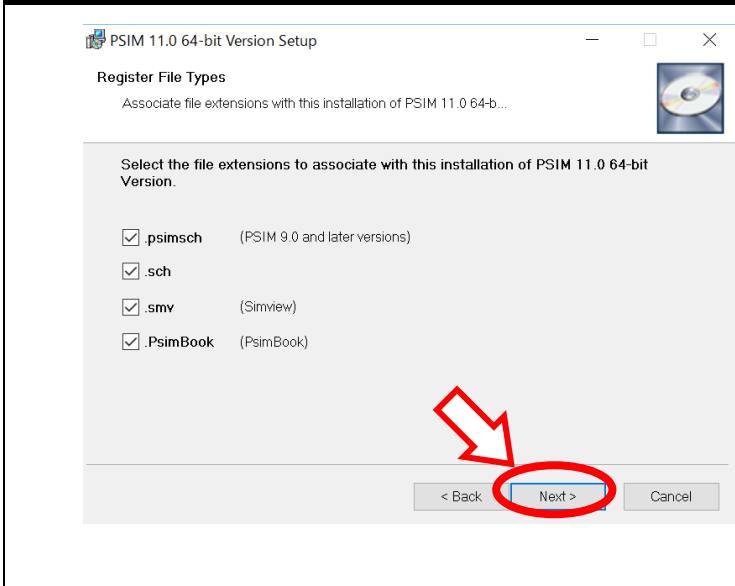
PSIMのインストール先を指定してください。

デフォルトではC:\Powersim\PSIM11.0.X_X64になります。

変更したい場合は、「Browse」をクリックしてインストール先を指定してください。

指定できたら「Next」をクリックします。

⑥

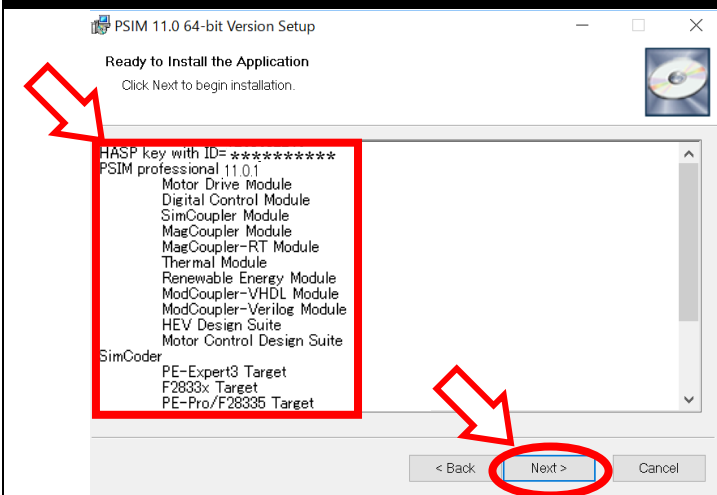


PSIMに関連付け出来る拡張子のリストが表示されます。

チェックが入っているものが関連付けされます。

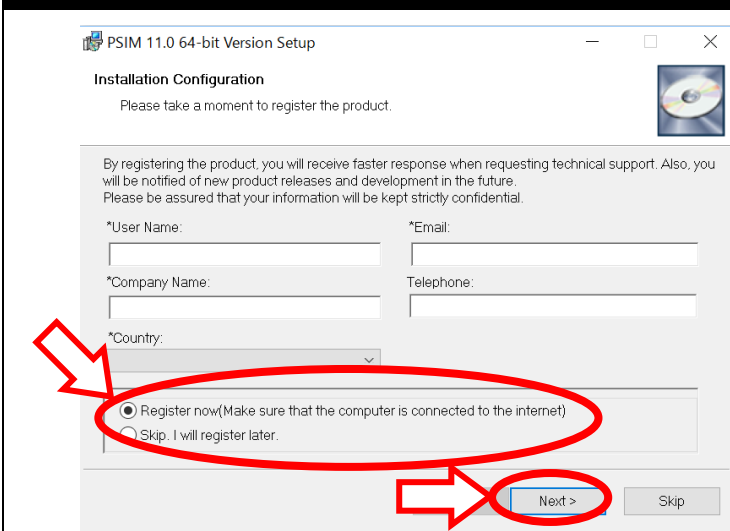
ご確認後、「Next」をクリックします。

⑦インストール内容を確認する



インストール内容の確認画面が表示されます。
ライセンス形態とオプションモジュール構成を確認後、「Next」をクリックします。インストールを開始します。

⑧ユーザー情報を登録する/しないを選択する



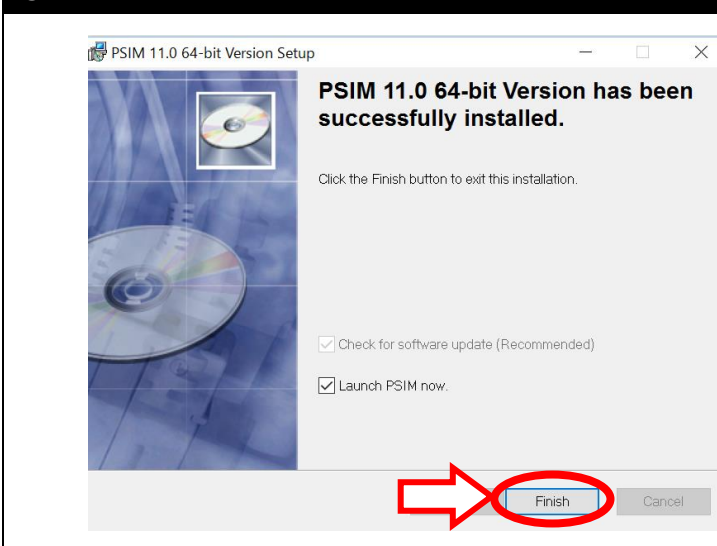
※入力されたデータはPSIMの開発元であるPowersim社に送られます。

インストールが終了すると、ユーザー情報の登録画面が表示されます。

登録する場合はフォームに記入後、「Register now」を選択し、「Next」をクリックします。
今すぐに登録しない場合は「Skip. I will register later」を選択し、「Next」をクリックします。

※ユーザー情報を登録しなくてもPSIMはご使用いただけます。

⑨インストールウィザードを終了する



以上でインストールは終了です。

すぐにPSIMを起動する場合は「Launch PSIM now.」にチェックを入れて「Finish」をクリックします。

2. ネットワーク版

本章ではHASPキーネットワーク版のインストール方法について説明します。

※旧タイプのHASPキー（HASP4）では、PSIM Ver10.0以降をお使いいただくことができません。HASP4をお持ちの方は新しいキーを発行いたしますので弊社までご連絡ください。

HASPキー			Ver.9.X	Ver.10.0~
旧タイプ	HASP4		○	×
現行タイプ	HASP HL		○	○
	Sentinel HL		○	○

（色は異なる場合があります。）

2.1 事前準備

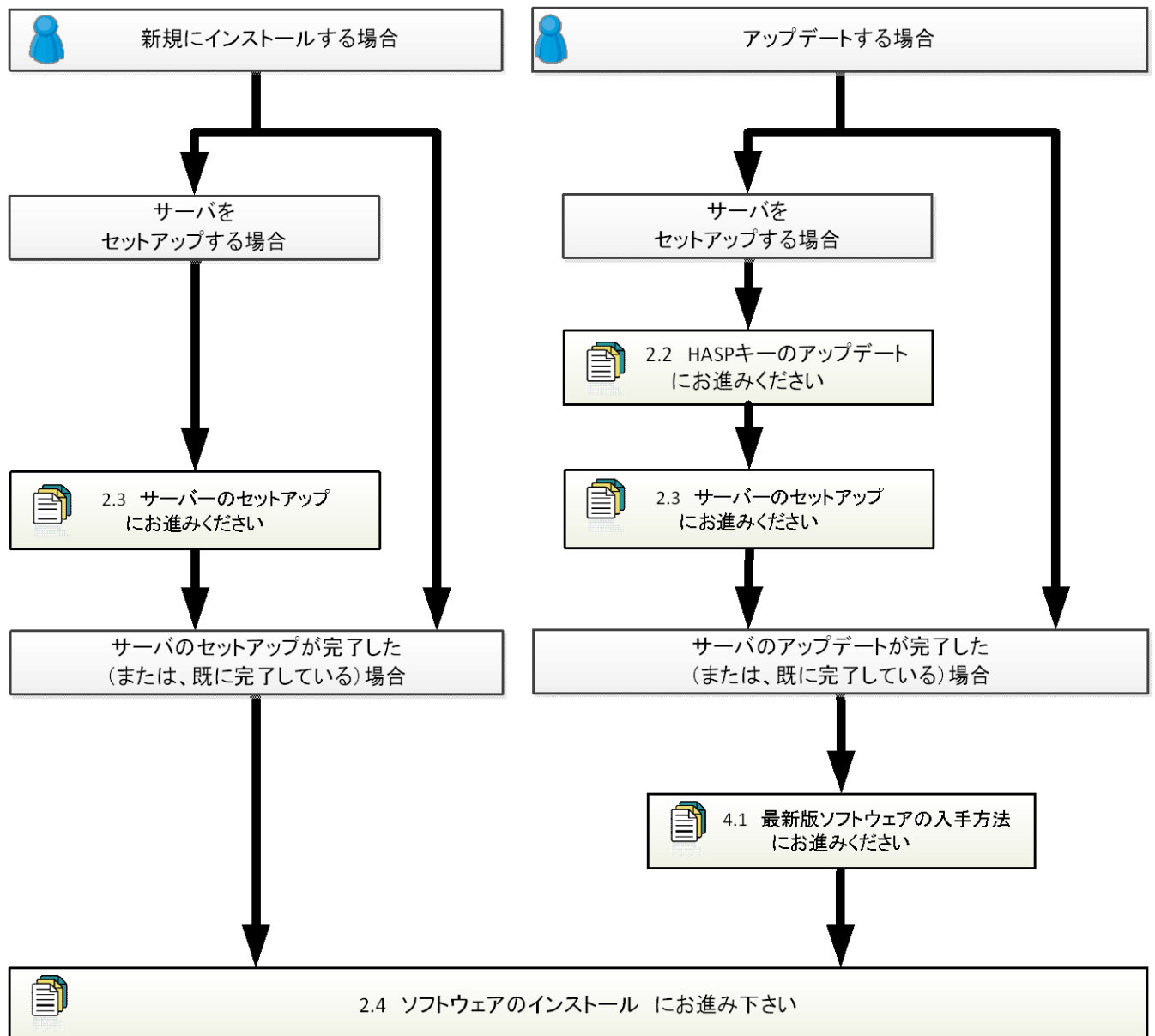
まずは<注意事項>をお読みいただき、インストール前の準備をして下さい。

その後、<フローチャート>から状況に合わせて読み進めてください。

<注意事項>

- ・ Admin権限をもったユーザーに切り替えてください（サーバー側、クライアント側ともに）
- ・ ライセンス確認書をお手元にご用意ください

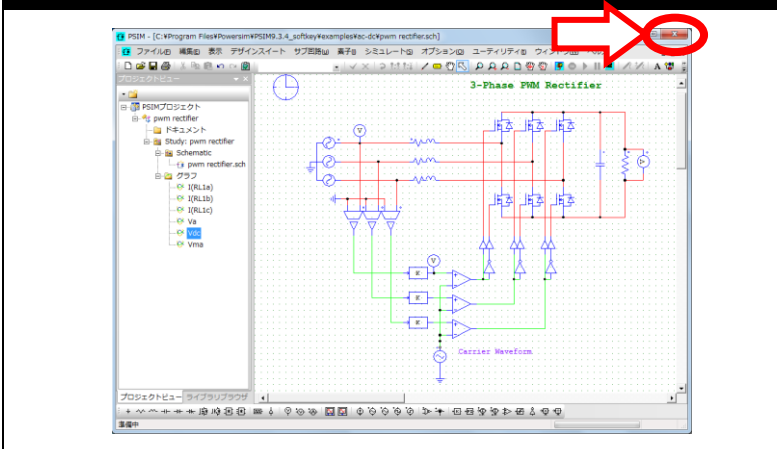
<フローチャート>



2.2 HASP キーのアップデート

(※本操作はサーバー側のみ必要です)

①クライアント側のPSIMを全て終了する



クライアント側で起動しているPSIMを全て終了させてください。

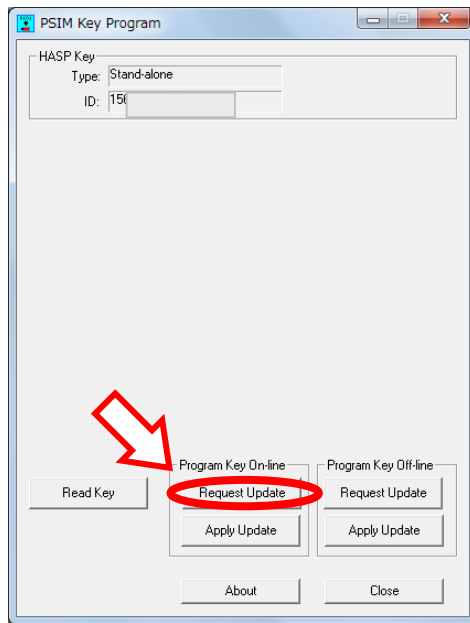
②ライセンスキー書き換えツール (KeyProgram.exe) をダウンロードする

※ホームページはデザイン変更されている場合があります。

はじめに、HASPキーのアップデートに必要なライセンスキー書き換えツール (KeyProgram.zip) を弊社ホームページ (<https://www.myway.co.jp/products/psim/download/lisence-key.html>) からダウンロードし、解凍してください。

※PSIM Ver9.XのKeyProgram.exeとは中身が異なりますのでご注意ください。

③KeyProgram. exeを実行する



HASP キーを PC に挿入します

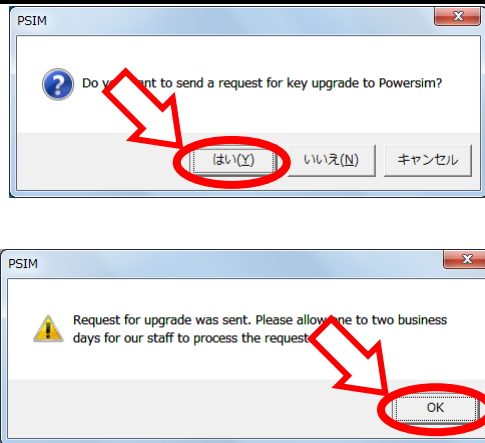
(HASP キーのドライバは自動的にインストールされますが、キーが認識されない場合は PSIM CD 中の ” HaspUserSetup. exe” を実行してください。 <http://www.powersimtech.com/download/HaspUserSetup.zip>からもダウンロード可能です。)

-V10にアップデート済みのキーの場合
アップデートリクエストは不要です。
スキップし⑤の手順から行ってください。

-V10以前のキーの場合

HASPキーを認識したら” KeyProgram. exe” を実行し「Program Key On-line」の中の「Request Update」を実行します。

④アップデートリクエストを送信する

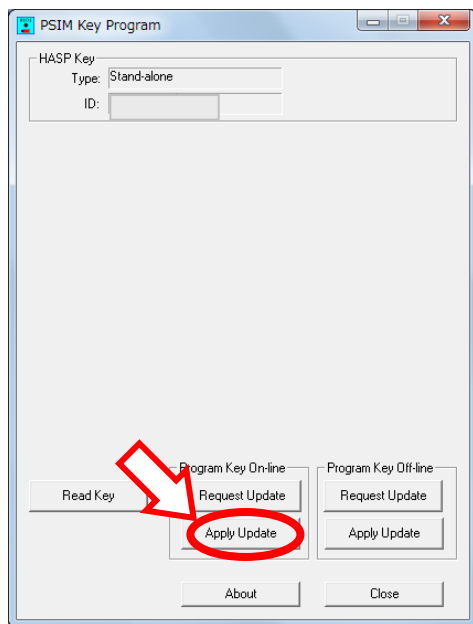


リクエスト送信の確認が表示されるので「はい」を選択します。

リクエストが送信され、リクエストの処理に1~2営業日が必要とのメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

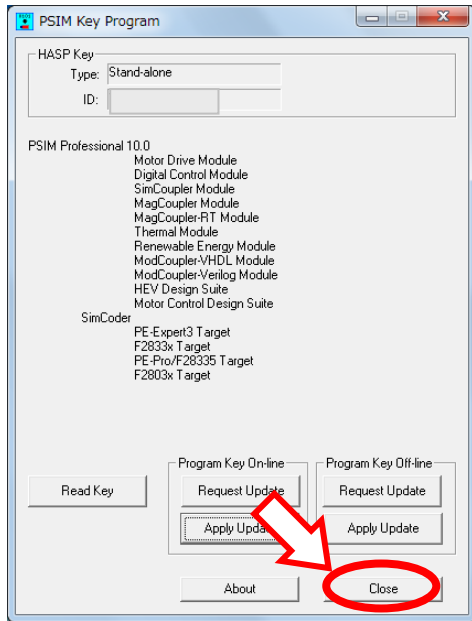
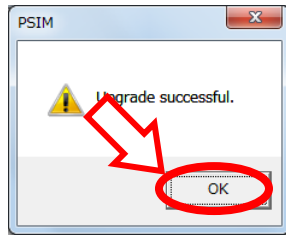
※リクエスト処理に1~2営業日かかりますのでお待ちください。

⑤アップデートを適用する



リクエスト処理完了後、HASPキーをPCに挿した状態でもう一度KeyProgram.exeを実行します。HASPキーを認識したら「Program Key On-line」の中の「Apply Update」を実行します。

⑥アップデート内容を確認する



アップデート成功のメッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

KeyProgramの中でアップデート内容が表示されるので確認した後「Close」をクリックします。

アップデートが完了しましたら、
2.3 サーバーのセットアップ
にお進みください。

2.3 サーバーのセットアップ

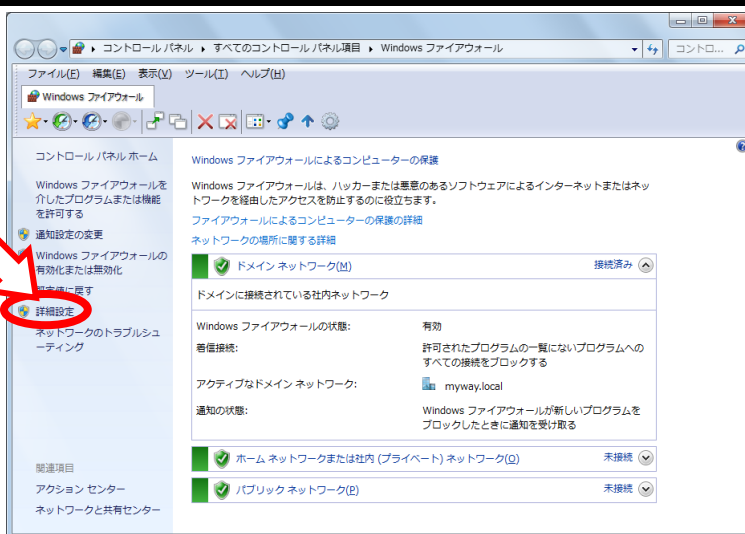
(※本操作はサーバー側のみ必要です)

PSIM Ver11.0 のネットワークライセンスは、ポート 1947 を使用します。以下は Windows ファイアウォールにおける手順です。(他のファイアウォールソフトウェアを使用する場合はそのソフトウェアのユーザーガイドの中のポート開放の項目を参照してください。)

※ 以下の手順は、PSIM Ver10.0 以降をお使いいただくことが前提です。PSIM Ver9.X を使用する場合には別途「HASP License Manager」が必要となります。

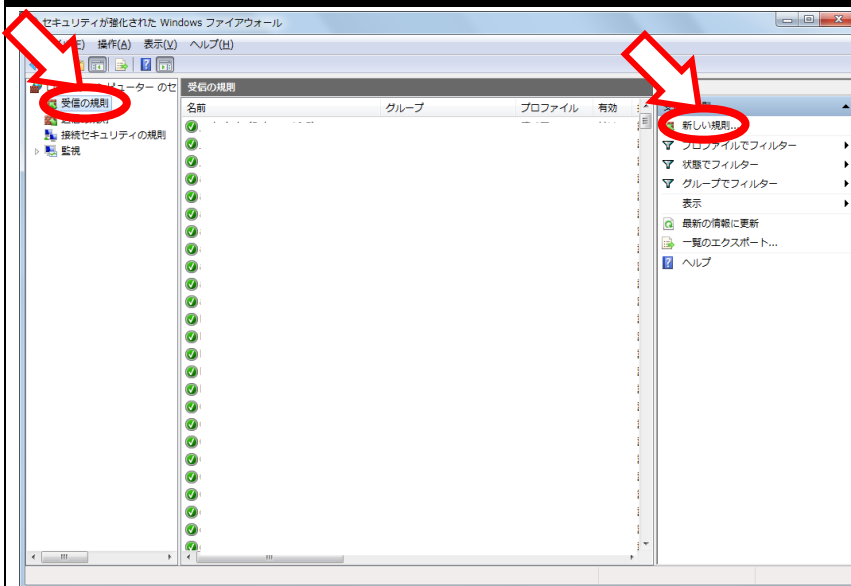
本手順を完了した後は、PSIM Ver11.0 をインストールしていただきますようお願いいたします。

①ファイアウォールの詳細設定を開く

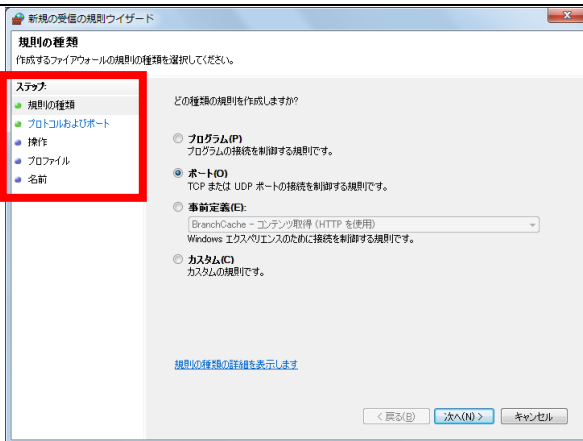


「コントロールパネル」の「Windows ファイアウォール」で「詳細設定」をクリックします。

②受信の規則で新しい規則を作成する



左側の「受信の規則」を選択して、右側の「新しい規則」をクリックします。



以下のように順番に設定して
いきます。

「規則の種類」

⇒ポート

「プロトコルおよびポート」

⇒特定のローカルポート

1947

「操作」

⇒接続を許可する

「プロファイル」

⇒（適切なものにチェック）

「名前」

⇒（任意）

③送信の規則で新しい規則を作成する

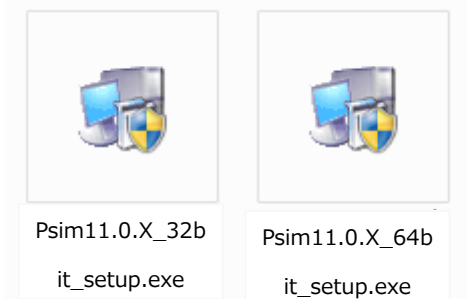
②と同様に送信の規則についても新しい規則を設定します。

以上でサーバーのセットアップは完了となります。

2.4 ソフトウェアのインストール

(※本操作はクライアント側のみ必要です)

①セットアップファイルを実行する



セットアップファイルを実行します。

CD-ROMからインストールする場合、実行するセットアップファイルは Psim11.0.X_32bit_setup.exe もしくは Psim11.0.X_64bit_setup.exe です。お使いPCに応じて選択してください。

②インストールウィザードを開始する

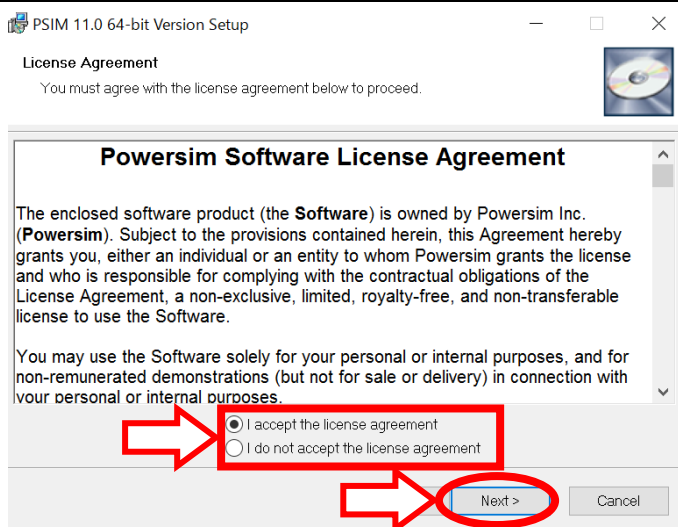


インストールウィザードが立ち上がります。

内容を確認後、「Next」をクリックします。

※この先の説明は64bit版のインストール画面を使用しています。

③ライセンス契約に同意する



ライセンス契約の確認画面が表示されます。

内容を確認後、「I accept the license agreement」を選択し、「Next」をクリックします。

④ライセンス形態を選択する

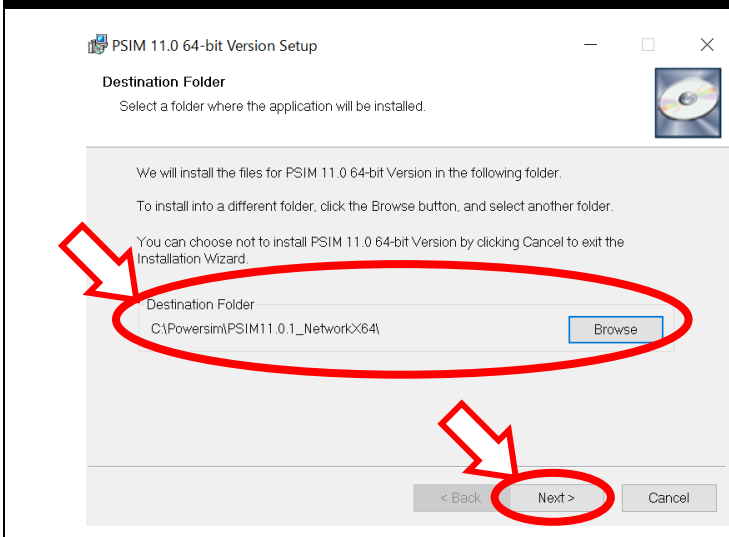


ライセンス形態の選択画面が表示されます。

「2-Hasp network version」を選択し、「Next」をクリックします。

Sentinel Runtimeがインストールされていない、若しくはバージョンが古い場合は先ずSentinel Runtimeのインストーラーが起動します。画面に従いインストール終了後⑤の手順を行ってください。

⑤インストール先を指定する



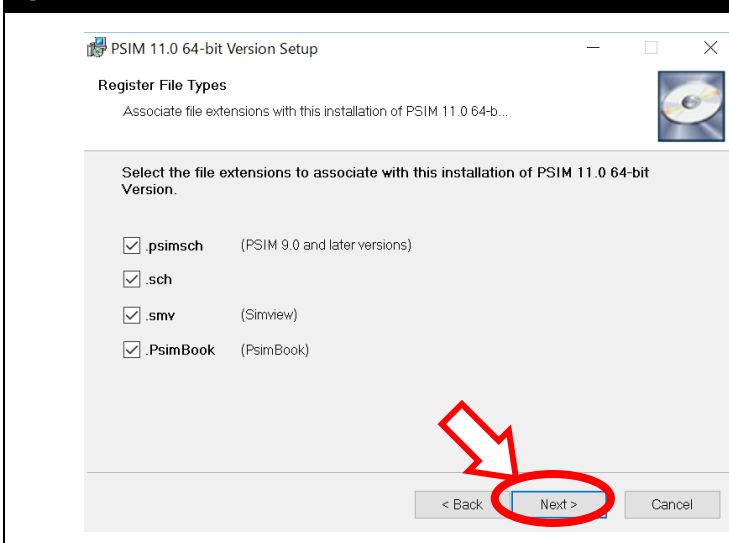
PSIMのインストール先を指定してください。

デフォルトではC:\Powersim\PSIM11.0.X_NetworkX64になります。

変更したい場合は、「Browse」をクリックしてインストール先を指定してください。

指定できたら「Next」をクリックします。

⑥PSIMに関連付けされる拡張子を確認する

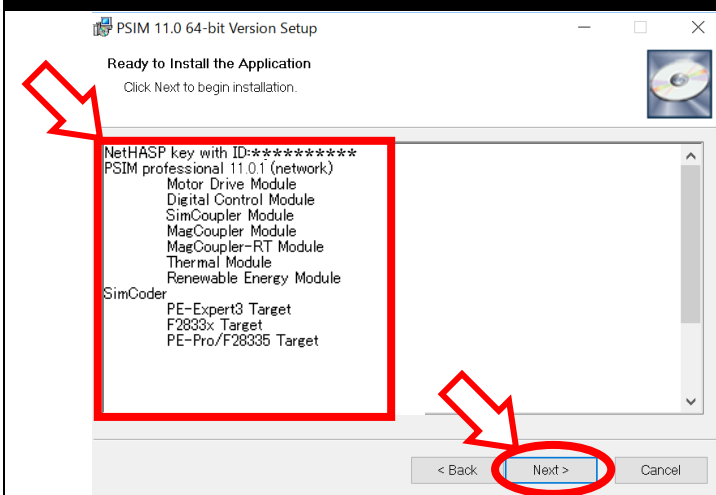


PSIMに関連付け出来る拡張子のリストが表示されます。

チェックが入っているものが関連付けされます。

ご確認後、「Next」をクリックします。

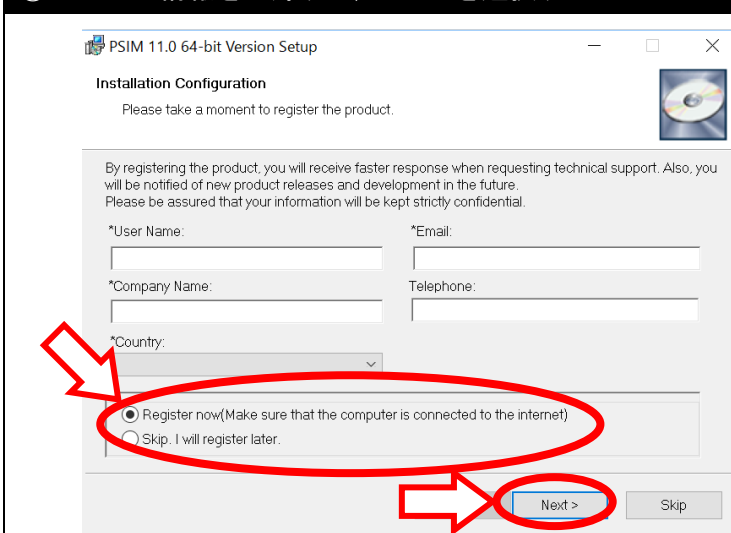
⑦インストール内容を確認する



インストール内容の確認画面が表示されます。

ライセンス形態とオプションモジュール構成を確認後、「Next」をクリックします。インストールを開始します。

⑧ユーザー情報を登録する/しないを選択する



※入力されたデータはPSIMの開発元であるPowersim社に送られます。

インストールが終了すると、ユーザー情報の登録画面が表示されます。

登録する場合はフォームに記入後、「Register now」を選択し、「Next」をクリックします。

今すぐに登録しない場合は「Skip. I will register later」を選択し、「Next」をクリックします。

※ユーザー情報を登録しなくてもPSIMはご使用いただけます。

⑨インストールウィザードを終了する



以上でインストールは終了です。

すぐにPSIMを起動する場合は「Launch PSIM now.」にチェックを入れて「Finish」をクリックします。

3. ソフトキースタンドアロン版

本章ではPSIMソフトキースタンドアロン版のインストール方法について説明します。

3.1 事前準備

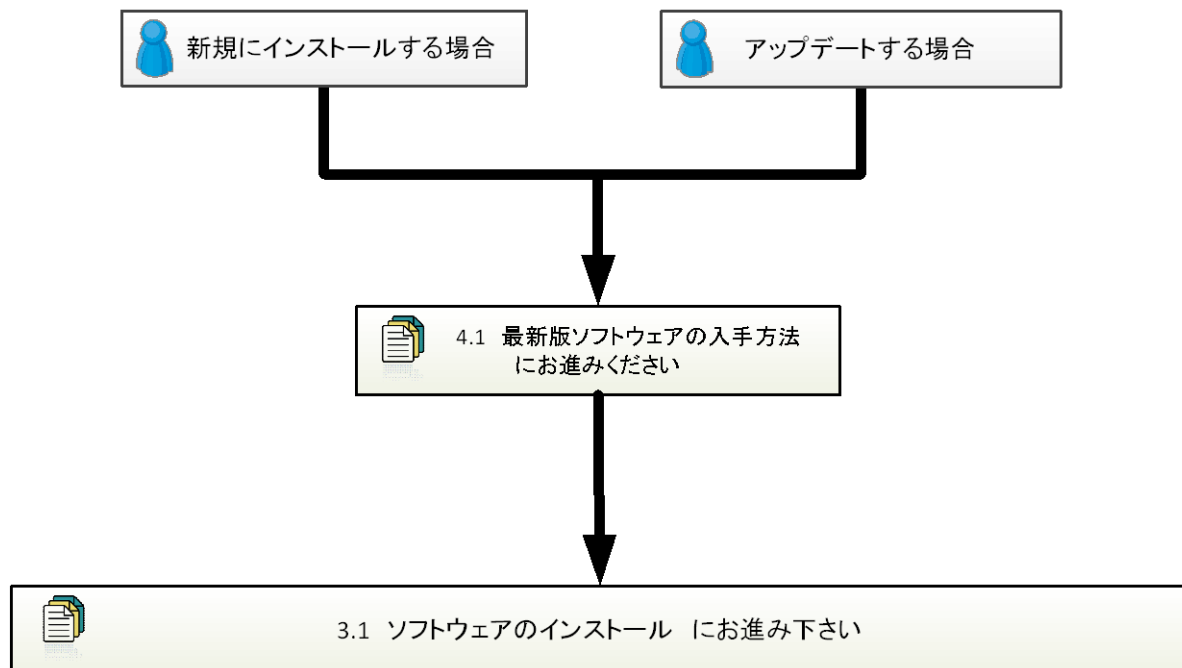
まずは<注意事項>をお読みいただき、インストール前の準備をして下さい。

その後、<フローチャート>から状況に合わせて読み進めてください。

<注意事項>

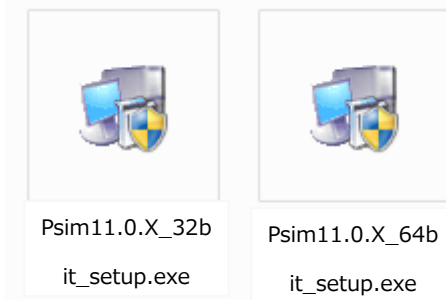
- ・ Admin権限をもったユーザーに切り替えてください
- ・ ライセンスファイル (psim. lic) をデスクトップなど任意の場所にご用意下さい。
- ・ ライセンス確認書をお手元にご用意下さい
- ・ 別マシンへの移行やOSの再インストールを行う場合は旧環境で事前に「オプション」⇒「ディアクティベーション」でディアクティベーションを行いコンピュータの登録を解除してください。事前にディアクティベーションを行えず、インストールが正常に行えない場合は弊社までご連絡ください。
- ・ ユーザーがPSIMをインストールするとインストーラーはPowersim社サーバに、ハードディスクID、CPU ID、MACアドレスから自動生成されるコンピュータIDを記録します。またPSIM起動時には、Windowsログイン名とIPアドレス情報を記録します。情報はPowersim社の内部ライセンス管理のみで使用するもので、厳密に管理されます。収集する情報に懸念がある場合は、インストール前に、弊社にお問い合わせください。

<フローチャート>



3.2 ソフトウェアのインストール

① セットアップファイルを実行する



ライセンスファイル (psim.lic) をデスクトップなど任意の場所に用意し、セットアップファイルを実行します。

CD-ROMからインストールする場合、実行するセットアップファイルは Psim11.0.X_32bit_setup.exe

もしくは

Psim11.0.X_64bit_setup.exe

です。お使いPCに応じて選択してください。

② インストールウィザードを開始する

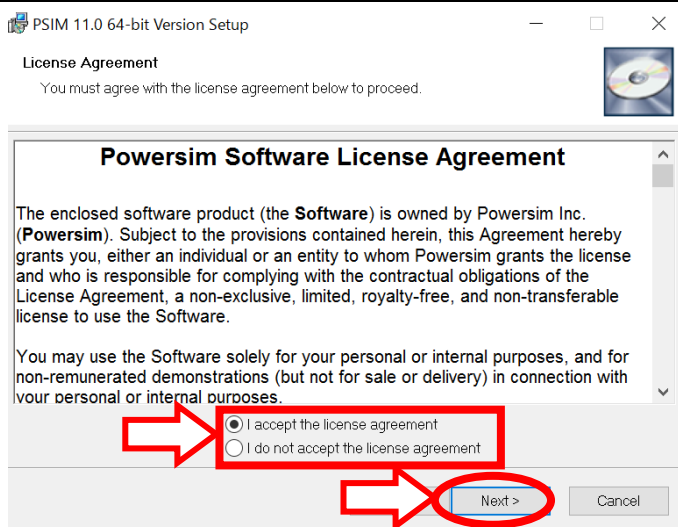


インストールウィザードが立ち上がります。

内容を確認後、「Next」をクリックします。

※この先の説明は64bit版のインストール画面を使用しています。

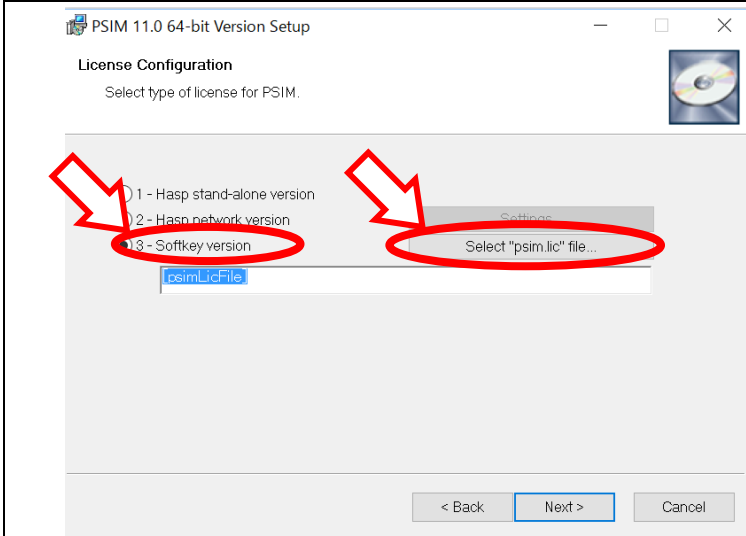
③ ライセンス契約に同意する



ライセンス契約の確認画面が表示されます。

内容を確認後、「I accept the license agreement」を選択し、「Next」をクリックします。

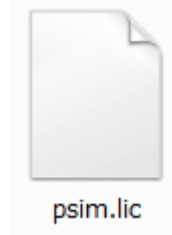
④ライセンス形態を選択する



ライセンス形態の選択画面が表示されます。

「3-Softkey version」を選択し、「Select "psim.lic" file...」をクリックします。

⑤ライセンスファイルを選択する

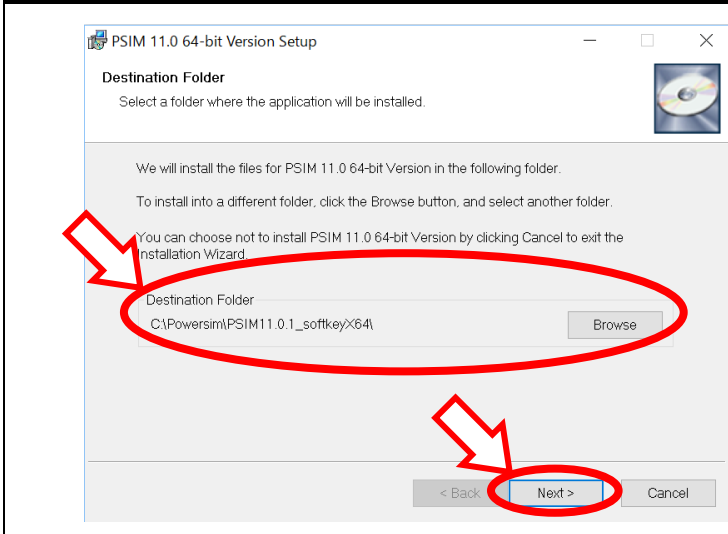


ファイル参照画面が起動したら、送付したライセンスファイル (psim.lic) を選択します。

ライセンスファイルをデスクトップやMy Documentなど任意の場所においていただき、選択してください。

選択すると④の画面に戻りますので、「Next」をクリックします。

⑥インストール先を指定する



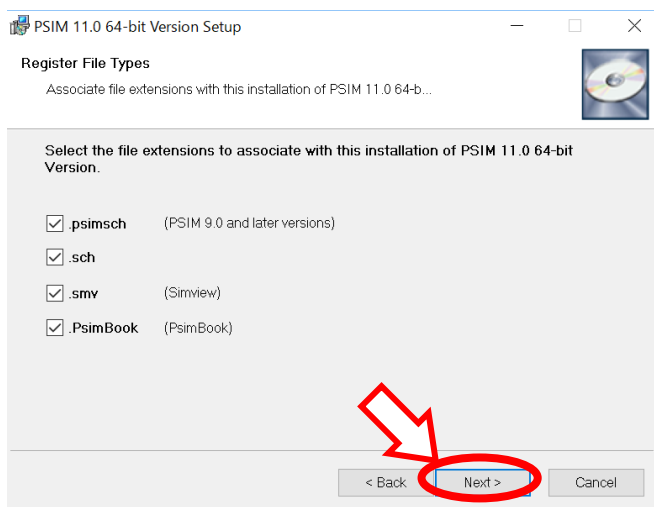
PSIMのインストール先を指定してください。

デフォルトではC:\Powersim\PSIM11.0.X_softkeyX64になります。

変更したい場合は、「Browse」をクリックしてインストール先を指定してください。

指定できたら「Next」をクリックします。

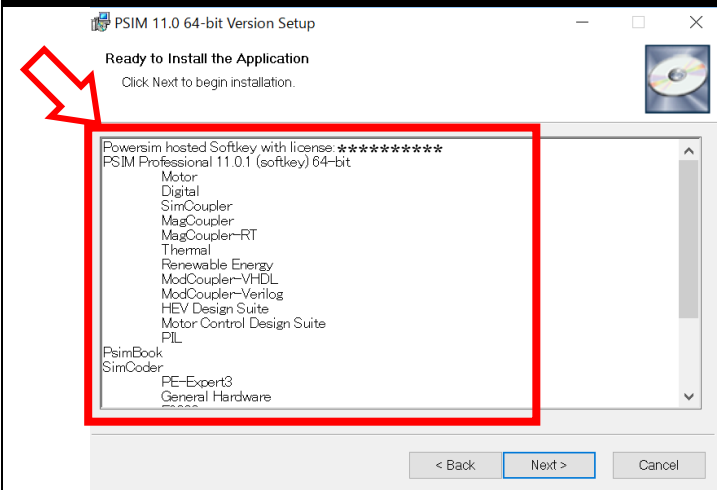
⑦PSIMIに関連付けされる拡張子を確認する



PSIMに関連付け出来る拡張子のリストが表示されます。
チェックが入っているものが関連付けされます。

ご確認後、「Next」をクリックします。

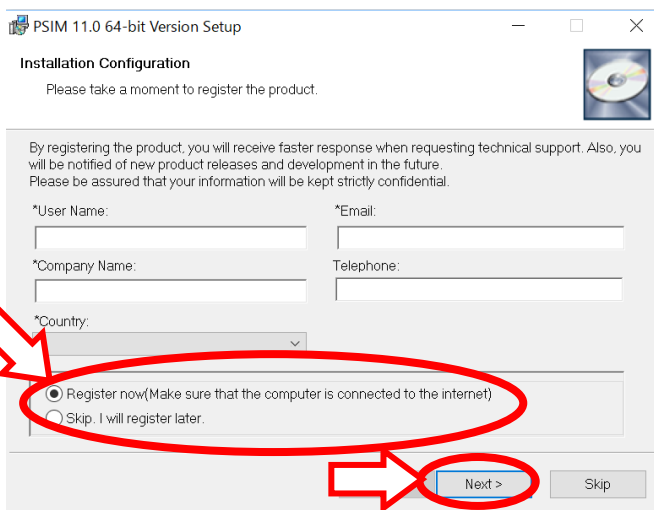
⑧インストール内容を確認する



インストール内容の確認画面が表示されます。

ライセンス形態とオプションモジュール構成を確認後、「Next」をクリックします。インストールを開始します。

⑨



※入力されたデータはPSIMの開発元であるPowersim社に送られます。

インストールが終了すると、ユーザー情報の登録画面が表示されます。

登録する場合はフォームに記入後、「Register now」を選択し、「Next」をクリックします。
今すぐに登録しない場合は「Skip. I will register later」を選択し、「Next」をクリックします。

※ユーザー情報を登録しなくてもPSIMはご使用いただけます。

⑩インストールウィザードを終了する



以上でインストールは終了です。

すぐにPSIMを起動する場合は「Launch PSIM now.」にチェックを入れて「Finish」をクリックします。

4. 最新版ソフトウェアの入手

本章では最新版ソフトウェアの入手方法について説明します。

最新版ソフトウェアの入手が完了しましたら、各ライセンス形態のフローに戻りインストールを行ってください。

※新規ご購入等で最新版ソフトウェアの入った PSIM CD がお手元にある場合はこの手順は不要です。

4.1 最新版ソフトウェアの入手方法

①弊社PSIMサポートページにアクセスする



インターネットブラウザを立ち上げます。

弊社のPSIMサポートページに接続します。(https://www.myway.co.jp/products/psim/psim_support/index.html)。ユーザー名、パスワードの入力ダイアログが出ますので入力してログインします。(ユーザー名、パスワードはライセンス確認書に記載されておりますのでご参照ください)

②PSIMサポートページメニューから「最新ソフトウェアダウンロード」を選択する



PSIMサポートページにログインしたら、画面右側のメニューから「最新ソフトウェアダウンロード」を選択します。

※ホームページはデザイン変更されている場合があります。

③セットアップファイルをダウンロードする

PSIM最新版ソフトウェアのダウンロード

最新バージョンのソフトウェアは、下記よりダウンロードしてください。
他のバージョンのソフトウェアもご用意しております。ご希望の方は、[こちら](#)よりお申し込みください。

ダウンロードファイル	更新日	ファイルサイズ
PSIM Ver.10.0 (32bit)	2016/07/11	324MB
PSIM Ver.10.0 (64bit)	2016/07/11	348MB
SmartCtrl Ver.2.1 (32bit/64bit共通)	2015/05/26	110.2MB

PSIM Ver.10.0.6に対応した修正バッチです。
詳しい使用方は解凍後、「お読み下さい.txt」をご参照ください。

ダウンロードファイル	更新日	ファイルサイズ
PSIM Ver.10.0.6 sp1 (32bit)	2016/09/13	30MB
PSIM Ver.10.0.6 sp1 (64bit)	2016/09/13	34MB

※ホームページはデザイン変更されている場合があります。

ダウンロード項目から最新版のファイルを選択し、ダウンロードします。

セットアップファイルは32bit版と64bit版をご用意しております。ご使用のPCに合わせて選択してください。

ダウンロードが完了しましたら任意の場所に展開し、続けて各ライセンス形態のフローに戻りソフトウェアをインストールしてください。

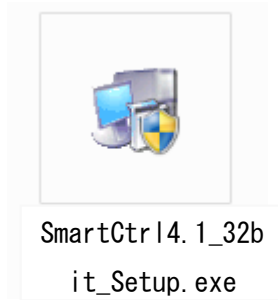
5. SmartCtrl のインストール

本章ではSmartCtrlのインストール方法について説明します。

<注意事項>

- ・ Admin権限をもったユーザーに切り替えてください
- ・ HASPキーをPCに挿してください（ネットワーク版の場合はサーバー側にキーを挿してください）

① セットアップファイルを実行する



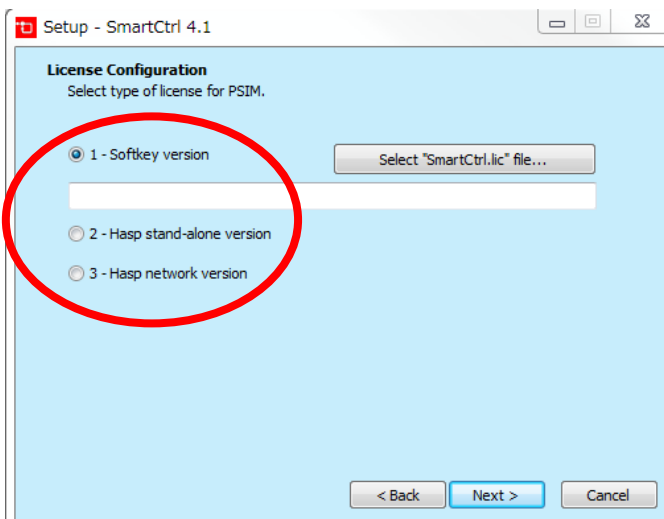
セットアップファイル“SmartCtrl4.1_32bit_setup.exe”を実行します。

② セットアップウィザードに従いインストールする



セットアップウィザードが立ち上がります。セットアップウィザードに従いインストールを行ってください。ライセンス契約の確認画面が表示されます。内容を確認後、「I accept the agreement」を選択し、「Next」をクリックします。

③ ライセンス形態を選択する



ライセンス形態の選択画面が表示されます。※ライセンス形態の選択画面ではPSIMソフトウェアと同じライセンス形態を選択し同様の操作を行ってください。

※ライセンス形態によっては「SmartCtrl is not included in your license.」のメッセージが表示される場合がありますが、「OK」をクリックしてそのままインストールを続けてください。

インストール後に生成された“doc”フォルダにSmartCtrlのユーザーマニュアルが入っていますのでご使用方法についてはそちらをご確認ください。

④ライセンスファイルを選択する（ソフトキースタンドアロン版のみ）



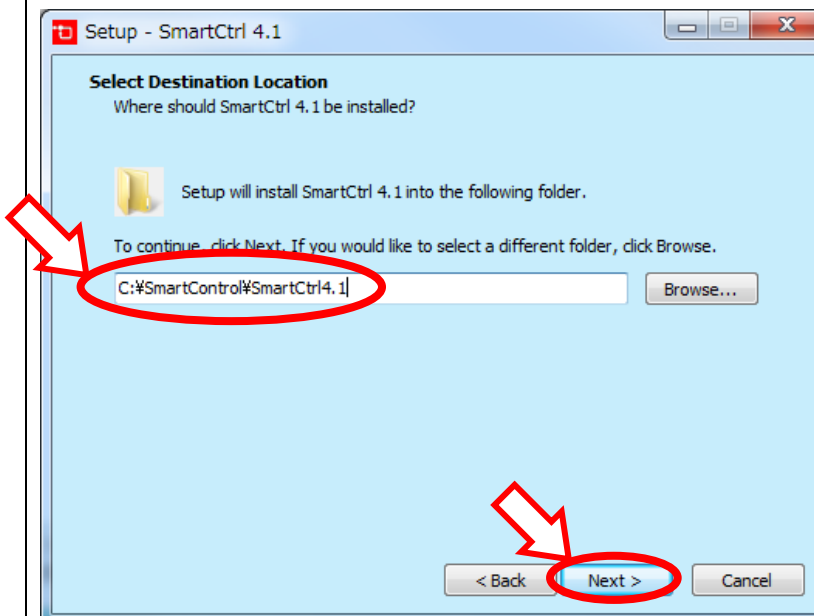
ライセンスファイル選択の“Select SmartCtrl.lic” file...”をクリックしてファイル参照画面が起動したら、送付したライセンスファイル(psim.lic)をコピーして、ファイル名を(SmartCtrl.lic)として選択します。

ライセンスファイルをデスクトップやMyDocumentなど任意の場所においていただき、選択してください。

元のpsim.licファイルを削除しないようご注意ください。

選択すると③の画面に戻りますので、「Next」をクリックします。

⑤インストール先を指定する。



SmartCtrlのインストール先を指定してください。

デフォルトではC:\SmartControl\SmartCtrl4.1になります。

変更したい場合は、「Browse」をクリックしてインストール先を指定してください。

指定できたら「Next」をクリックします。

⑥インストール先を指定する

インストールが終了すると、ユーザー情報の登録画面が表示されます。登録する場合はフォームに記入後、「Register now」を選択し、「Next」をクリックします。

今すぐに登録しない場合は「Skip. I will register later」を選択し、「Next」をクリックします。

※ユーザー情報を登録しなくてもご使用いただけます。

⑦インストールウィザードを終了する。

以上でインストールは終了です。すぐにSmartCtrlを起動する場合は「Run SmartCtrl」にチェックを入れて「Finish」をクリックします。

6. HASP ネットワークライセンスの確認方法

本章では HASP ネットワークライセンス の確認方法について説明します。

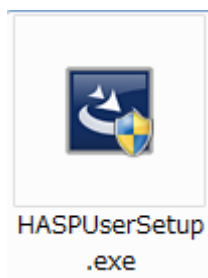
クライアント側 PC に Sentinel LDK Run-time をインストールすることで HASP ネットワークライセンスを確認することができます。

※クライアント側 PC に Sentinel HL タイプのキーを挿入した場合は、自動的に Sentinel LDK Run-time がインストールされますので、以下の手順①は不要です。

(HASP キーのタイプについては、2. ネットワーク版 をご参照ください。)

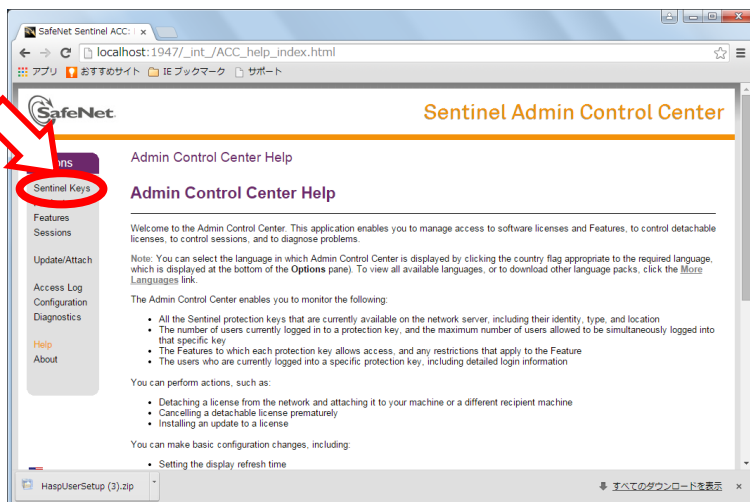
(※本操作はクライアント側のみ必要です)

① HASPUserSetup.exe を実行する



PSIM CD の中の
”HaspUserSetup.exe” を実行してください。<http://www.power-simtech.com/download/HaspUserSetup.zip>からもダウンロード可能です。)

② ネットワークライセンスの確認



Web ブラウザを立ち上げ、アドレスに”http://localhost:1947”と入力します。

左側の”Options”の中「Sentinel Keys」をクリックしてサーバーPCとKey IDを確認します。

7. アドオンオプションの設定方法

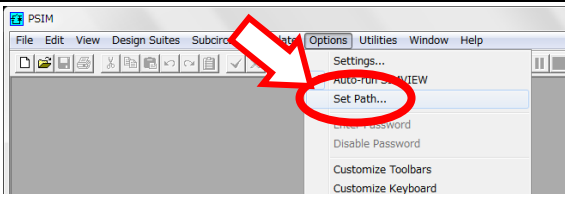
本章ではPSIMの下記アドオンオプションの設定方法について説明します。

- ・ Magcoupler および Magcoupler-RT
- ・ SimCoupler
- ・ ModCoupler-VHDL および ModCoupler-Verilog

ご購入頂いたオプションモジュールに合わせて読み進めてください。

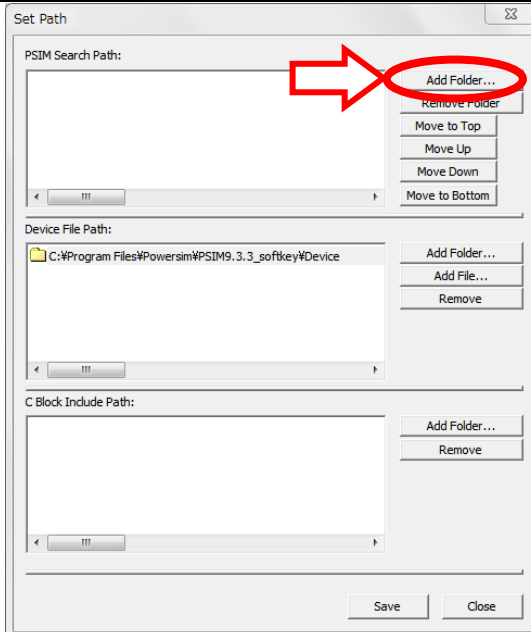
7.1 MagCoupler および MagCoupler-RT の設定方法

①Set Pathを選択する



メニューバーから「Options」→「Set Path...」を選択してください。

②JMAGインストールフォルダを追加する



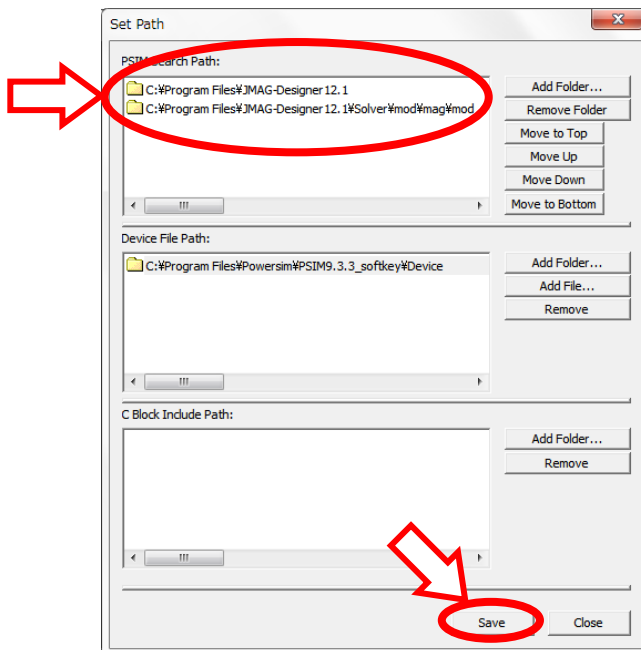
「Add Folder...」をクリックし、JMAG-Designerのインストールフォルダとインストールフォルダ¥Solver¥mod¥mag¥modフォルダを指定してください。

例) C:\Program Files¥JMAG-Designer 12.1

例) C:\Program Files¥JMAG-Designer 12.1¥

Solver¥mod¥mag¥mod

③保存する



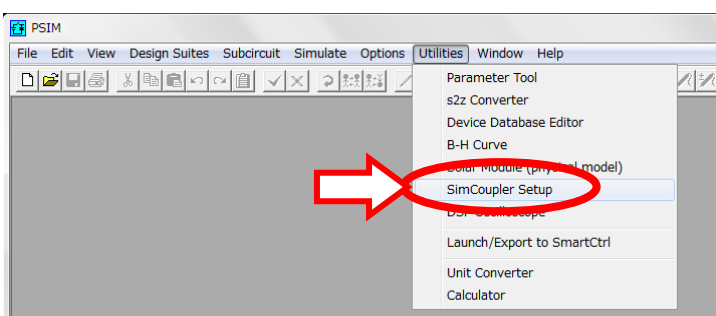
指定したフォルダを確認し、画面左下にある「Save」をクリックします。

今回設定した内容を反映する為に、PSIMを再起動してください。

以上で設定は終了です。

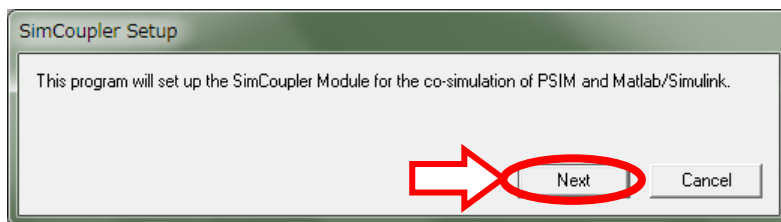
7.2 SimCoupler の設定方法

① SimCoupler Setupを選択する



メニューバーから「Utilities」→「SimCoupler Setup」を選択してください。

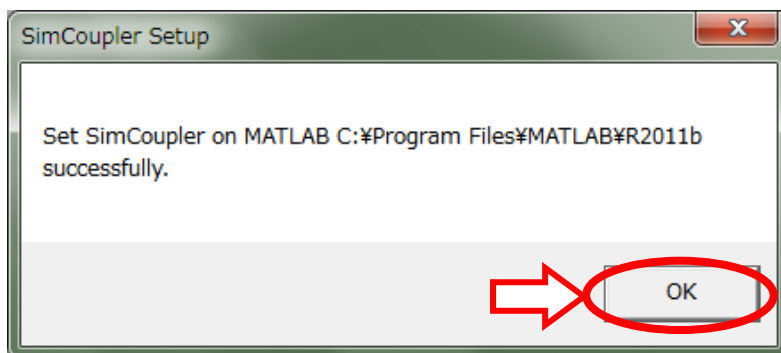
② SimCoupler Setupを実行する



SimCoupler Setup画面が表示されます。「Next」をクリックして実行してください。

※PCにMATLABが複数インストールされている場合は、そのリストが表示されます。連成で使用するMATLAB（複数可）を選択し、OKを押してください。

③ SimCoupler Setupを終了する

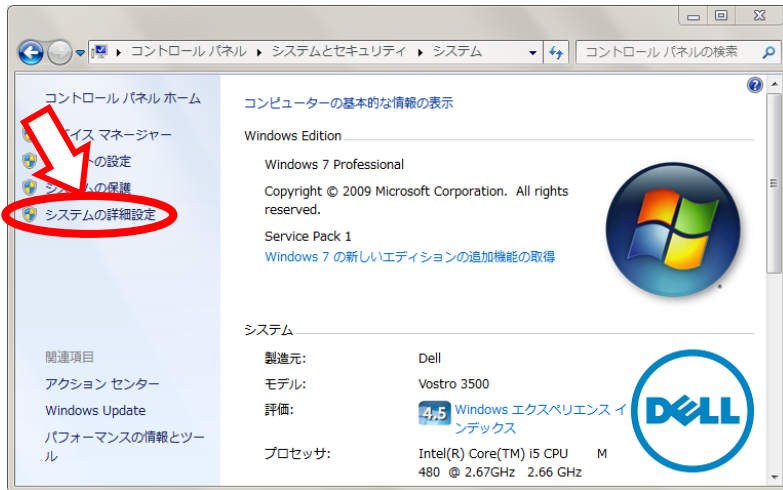


左の画面のように「～successfully.」と表示されたら、「OK」をクリックしてSimCoupler Setupを終了してください。

以上で設定は完了です。

7.3 ModCoupler-VHDL および ModCoupler-Verilog の設定方法

①システムの詳細設定を起動する



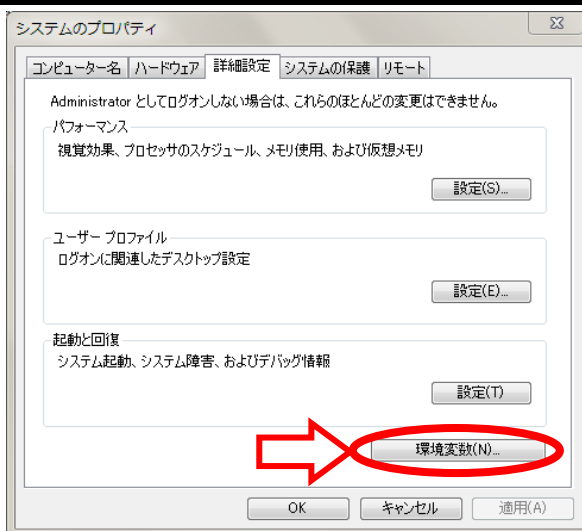
Windowsのシステムの詳細設定を起動します。

起動する方法は二通りあります。どちらかの方法を選択して起動してください。

(A) コントロールパネルを起動し、システムとセキュリティ→システムを選択して左の画面を表示させ、「システムの詳細設定」を選択します。

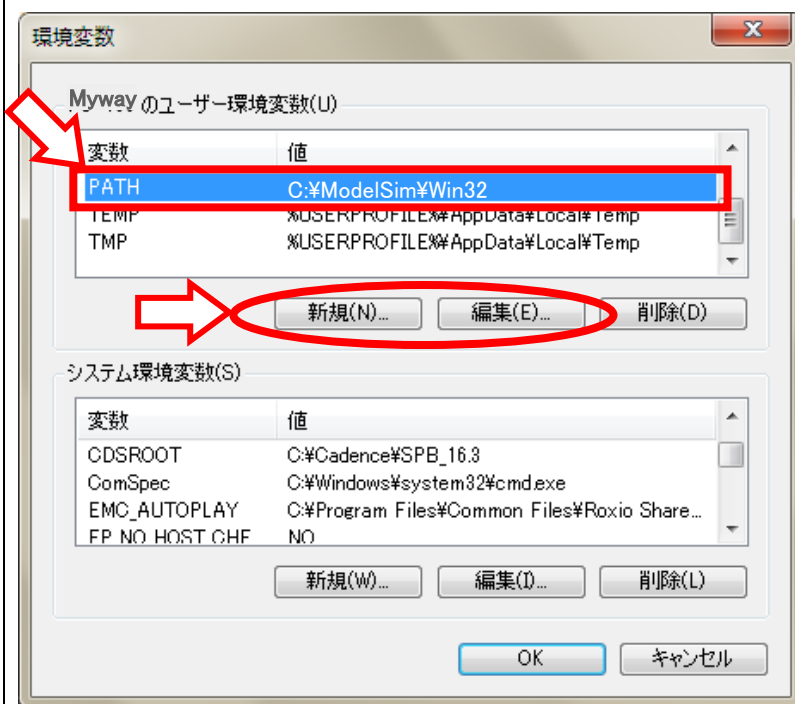
(B) スタートメニューやデスクトップに表示されている「コンピュータ」を右クリックし「プロパティ(R)」を選択して左の画面を表示させ、「システムの詳細設定」を選択します。

②環境変数を選択する



システムのプロパティ画面が表示されたら、詳細設定タブの「環境変数(N)...」をクリックします。

③環境変数PATHにModelSim¥Win32へのパスを設定する



環境変数画面が表示されたら、ユーザー環境変数の欄から「PATH」という変数を探します。

・「PATH」が既に存在する場合
PATHを選択して「編集(E)...」をクリックし、ModelSim¥Win32へのパスを設定してください。

・「PATH」が存在しない場合
「新規(N)...」をクリックし、ModelSim¥Win32へのパスを設定してください。

ModelSimがCドライブの直下にインストールされている場合、パスはC:¥ModelSim¥Win32となります。

設定できたら「OK」をクリックします。

以上で設定は完了です。

8. お問い合わせの前に

本章では使用時にトラブルやエラーが起きた場合に、まずご確認いただきたい点をまとめました。

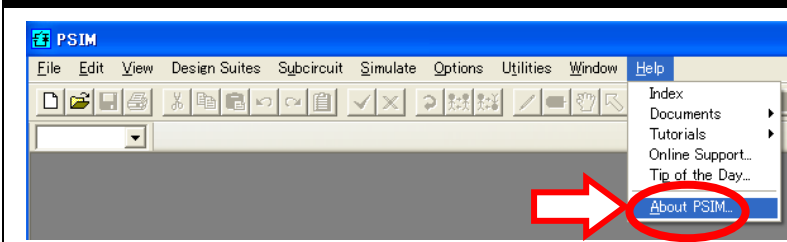
ご確認していただくことでトラブルが解決する場合や、お問合せの際に確認した情報を加えていただくと、原因解明に繋がりが易くなる場合がありますので、まずはお試し下さい。

8.1 PSIMのバージョン情報を確認する

まずは一番基本となるPSIMのバージョン情報を確認します。

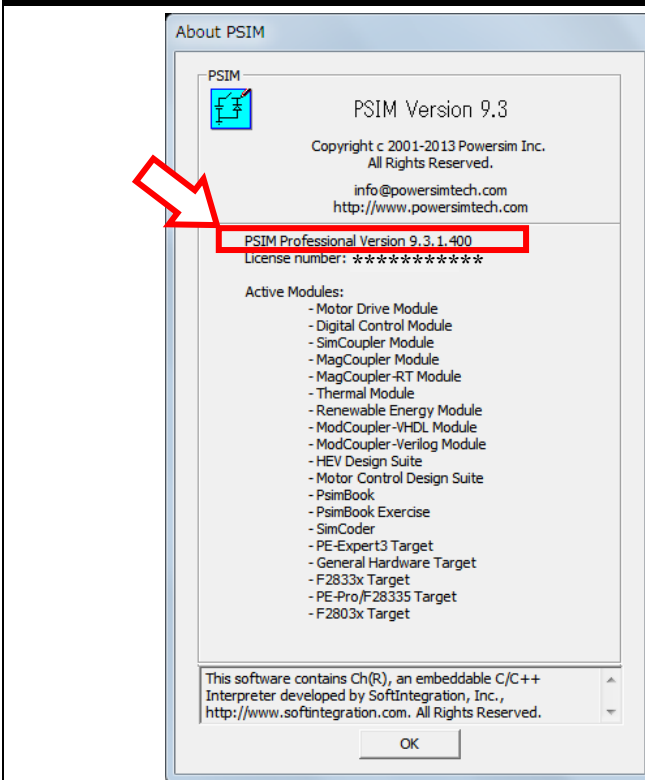
ご利用中のPSIMのバージョンが古い事や、連成シミュレーションを行うソフトウェアと互換性が取れていないバージョンを使用すると、トラブルやエラーを引き起こすことがあります。

①About PSIMを選択する



メニューバーから「Help」→「About PSIM...」を選択してください。

②Version情報を確認する



PSIMの設定情報が表示されたら、PSIMのバージョン情報をご確認下さい。このバージョンナンバーの構成は、「9.3.1.400」を例にすると以下のとおりになります。

9: メジャーバージョンNo.

3: マイナーバージョンNo.

1: リリースNo.

400: 製品の型式

この画面内には使用可能なモジュールや、ネットワーク版の使用可能人数などの情報も表示されます。

8.2 Windows のシステム情報を確認する

PSIMを使用するPCのシステム情報を確認します。

インストールしたPSIMのバージョンや型式がOSのバージョン・システムの種類と互換性が無い場合、エラーが発生する可能性があります。

①システム情報を確認する



Windowsのシステム情報を表示します。表示する方法は二通りあるので、どちらかの方法を選択してください。

(A) コントロールパネルを起動し、システムとセキュリティ→システムを選択します。

(B) スタートメニューやデスクトップに表示されている「コンピュータ」を右クリックし「プロパティ(R)」を選択します。

システム情報が表示されたら、Windowsのバージョンとシステムの種類をご確認下さい。

PSIM Ver11
インストールマニュアル

発行 : Mywayプラス株式会社
〒220-0022
神奈川県横浜市西区花咲町6-145
横浜花咲ビル
TEL. 045-548-8836
FAX. 045-548-8832

ホームページ : <https://www.myway.co.jp>
Eメール : sales@myway.co.jp
